

看護学部看護学科 履修系統図 (2022(R4)年度 入学生用)

「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」に準拠した授業科目と本学が独自に設定した次の授業科目を組み入れた特色あるカリキュラムを編成します。

- 人間の多面的な理解を深めるための幅広い教養を身につける科目
 - 医療専門職者として人の価値観を尊重できる態度と倫理観を育む科目
 - 人間を取り巻く環境と健康に関わる医学・保健学・福祉学など近接学問領域の幅広い知識や技術を養成する科目
 - チーム医療に必要な知識と協働する力を養成する科目
 - 看護学における専門知識と基本技術を養成し、論理的思考力や問題解決力を身につける科目
 - 看護学の対象となる人間の成長・発達、療養環境に応じた看護の専門科目
 - 国際的な視点から看護を探求し創造する力を育む科目
- 教育課程を「基礎分野」と「専門基礎分野」、「専門分野」の3分野から構成する。看護学の「人間」「健康」「環境」「看護」のメタパラダイム概念および人間の成長・発達、療養環境に応じた看護をもとに、これらの内容を含んだ科目を効果的かつ体系的に編成する。また、学年進行にともなって基礎分野から専門基礎分野、専門分野へと積み上がるように科目をバランスよく配置する。看護実践能力を効果的に育成するために講義・演習・学外実習を織り交ぜた授業形態で編成する。また、段階的・発展的に看護実践能力を学修できるように各年次に学外実習を配置する。

| | | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 |
|--------|---------|--|--|---|--|
| 専門分野 | 基盤看護学 | 看護学概論Ⅰ 基礎看護方法論 基礎看護技術Ⅰ(生活援助) 基礎看護学実習Ⅰ(生活援助) | 基礎看護技術Ⅱ(治療援助) 基礎看護技術Ⅲ(看護過程) セイフティマネジメント 基礎看護学実習Ⅱ(看護過程) | | 看護学概論Ⅱ 感染看護論 看護マネジメント 看護キャリア開発論 看護学教育論 |
| | 療養支援看護学 | | 成人看護学概論 急性看護援助論 慢性看護援助論 精神看護学概論 | がん看護援助論(含終末期看護) 成人看護技術演習 成人看護学実習Ⅰ(急性) 成人看護学実習Ⅱ(慢性) 精神看護援助論 精神看護学実習 | クリティカルケア論 代替療法と看護 学校保健と心の問題 |
| | 家族支援看護学 | | 小児看護学概論 小児看護援助論Ⅰ 子育てと文化 母性看護学概論 ヒューマンセクシュアリティと看護 | 小児看護援助論Ⅱ 小児看護学実習 母性看護援助論 母性看護学実習 | 基礎助産学 助産診断技術学Ⅰ(周産期・新生児の健康診査)* 助産診断技術学Ⅱ(助産診断実践過程)* 助産管理* 助産学実習* *助産師選択科目 |
| | 生活支援看護学 | 地域・在宅看護論Ⅰ | 老年看護学概論 老年看護援助論 公衆衛生看護学概論 地域・在宅看護論Ⅱ | 老年看護技術演習 老年看護学実習 公衆衛生看護活動論 地域・在宅看護援助論 地域・在宅看護実習 | 認知症ケア方法論 公衆衛生看護方法論 公衆衛生看護管理論* 公衆衛生看護方法論演習* 公衆衛生看護学実習* ケアマネジメント論 *保健師選択科目 |
| | 総合 | | | 研究方法論 家族看護論 | 統合看護実習 国際看護 災害看護 看護研究セミナー |
| 専門基礎分野 | 人間と健康 | 形態機能学Ⅰ(運動器・神経系) 形態機能学Ⅱ(循環器・内臓系) 看護形態機能学 生化学 免疫学(含微生物学) | 病理学 疾病・治療論Ⅰ(内科) 疾病・治療論Ⅱ(外科) 疾病・治療論Ⅲ(精神/老年) 疾病・治療論Ⅳ(母性/小児) 医療遺伝学 薬理学 栄養学 臨床心理学(カウンセリング論を含む) | | |
| | 環境と健康 | | 公衆衛生学 保健統計学 | 疫学 | |
| | 人間と環境 | 社会福祉学 食品・環境論 国際医療福祉論 | 保健医療福祉行政論 国際医療福祉論 | | 地域ボランティア論 |
| | チーム医療 | 医療コミュニケーション論 | チーム医療概論 | 総合リハビリテーション論 薬学概論 | チーム医療論演習 多職種連携実習 |
| 基礎分野 | 人間と言葉 | 基礎英語 英語会話 韓国語 中国語 | 科学英語 応用英語 | | |
| | 人間と文化 | 芸術学 アカデミックリテラシー 健康スポーツ科学Ⅰ 健康スポーツ科学Ⅱ(理論を含む) 国際比較文化論 | | | |
| | 人間と社会 | 生命・医療倫理学 哲学 法学(日本国憲法を含む) 教育学 社会学 人間発達学 | | | |
| | 人間と科学 | 数理科学入門 化学と生命 生物学 心理学 情報の科学 科学論 医療概論 統計学 早期臨床体験実習 | | | |